

ニューストップ > 芸能 > 芸能総合

IMALU 結婚相手は「両親を知らない外国人がいい」

B! 0 おすすめ 0 ツイート

2016年3月1日 16時44分

東スポWeb

お笑い芸人・明石家さんま（60）の長女でタレントのIMALU（26）らが1日、都内で「第2回観光交流大賞&恋華めぐり」授賞式に出席した。

若者代表として親善大使に選ばれたIMALUは「最近、友達と一緒に結婚について考える機会が増えたし、結婚式や相手の人についてリアルに感じるようになった。私自身の幸せとともに、若者を引っ張っていけるように頑張りたい」と、婚活に本腰を入れる。



写真拡大

続けて「結婚式はオーストラリアの海沿いの暖かい地域で。何歳までとは考えず、ご縁があれば。理想は高いですよ。無限大に作れるので。いろんな人の恋愛模様を見ながら、同時に私が誰かと出会えればいいな」と目を輝かせた。

だが、現実が違う。「近寄ってくれる男性がいない。だから、最近は両親のことを知らない外国人の方がいいんじゃないかと思うようになった」

実は「初めてのボーイフレンドは留学先のカナダで出会ったカナダ人」だったと言い「私はクールに見られがちだけど、付き合ったら愛情表現が結構激しく、甘えるタイプ。そういう意味でも愛情表現がストレートな外国人の方が向いているかも」

情けないことに、日本の草食系男子は偉大な両親にビビってしまい、女ざかりの美女を敬遠しているようだ。

自信を喪失したのか、相手選びを飼い犬に頼っており「ウチのワンちゃんに懐かなかった男性が、私を裏切ったことがある。だから、どれだけすてきだと思っても、ワンちゃんが好きにならなかつたら、この人は何か裏があるんじゃないかと考えてしまう」と明かす。

この日、出席した華道家の假屋崎省吾氏（57）も「動物は純粹だから人を見抜く」と同意すると、IMALUの結婚相手について「すべてを包み込んでくれるような包容力のある人の方がいいのでは」とアドバイス。

同イベントは、少子化対策と地域活性化を兼ねた「恋人の聖地」プロジェクトを行うNPO法人地域活性化支援センターが主催した。